

●審査実施日：令和3年5月6日（木）～13日（木）※書面審査

●参加団体数及び事業数

自立促進部門テーマ型：1団体・1事業 ○総補助金申請額：260,000円

自立促進部門提案型 ：1団体・1事業 ○総補助金申請額：147,000円

●審査結果：自立促進部門テーマ型1事業、提案型1事業の推薦を決定し、補助金の査定額は下表のとおりです。

■自立促進部門テーマ型

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット	260,000	260,000	ひきこもりをはじめ、現代社会で生きづらさを抱える若者を対象に農園を居場所として提供し、食を通しての居場所づくり事業「地域食堂」を展開する。当事者と支援者及び地域の人たちとの交流に重点を置き、生きづらさを抱える若者が急増する現実をみんなで考える学習機会を積極的に設け、当事者や当事者家族に向けられる偏見差別をなくすとともに、理解を深める。	◎この事業を通じて理解者を増やすだけでなく、もう一步踏み込んで、理解者とひきこもりなど生きづらさを抱える若者をつなぐことができるような働きかけ（取り組み）を行ってください。また、新型コロナウイルス等感染症への対策を十分に検討してください。
	地域で作る“生きづらい人々の居場所”トピアファーム				

■自立促進部門提案型

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット	147,000	147,000	市内の不登校やひきこもりの子どもをもつ家族を対象に実態調査のアンケートを実施し、その結果を学校や支援団体が支援に活用できるようにする。また市内の各小学校区の近くで「不登校引きこもり合同相談会」を開催し、専門的知識を習得したピア相談員がひきこもりの子どもを持つ家族（特に親）に寄り添い、不安な気持ちや悩みを聞くことで孤立を防ぎ、支援する。これらの活動を通じて、現存の支援体制の狭間をうめ、当事者（子ども）や親と専門家をつなぐ役割を果たす。	◎この事業を通じて不登校ひきこもりの実態を把握し、その複合的な原因を把握した際には、適切な相談場所へつなげることも取り組みのなかで実施してください。また、新型コロナウイルス等感染症への対策を十分に検討してください。
	「不登校ひきこもり実態調査と相談会の開催」事業				